

合 計 一〇〇点	三						二					一										大問	問 題																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	6		5	4	3	2	1	4		3	2	1	7	6	5			4	3	2	1	小問																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	b	a	ウ	(例) 父母が両眼を病んでいるので 薬となる鹿の乳を得たいと思った から	イ	A	わずらい	Y	X	a	(例) 食べることを 身体を生かす行為と考える こと	①	(例) 伸太を通して自分が 家族の誰からも大事にされ、愛されていた こと	a	C	B	A	(例) 誰かに覚えててくれな と言われた記憶	(例) 一時的に その場から離れた ということ	始め ぼんや	①	正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	孝行	(例) 無理				エ		(例) 人と人とながらる	(例) 親しい人と一緒に祝う	栄養		けんぜん		エ	(例) 一緒に過ごしたこと	世話を してあげたい	成長				届 いて		起																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
						B				③														か が や	き	②	役 割	c	慣 習	d	(例) 必要	④	囲 み	④	えんがわ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ア						C				イ														④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
c	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	あはれなり	